

屋根下のルーフィン 施工方法

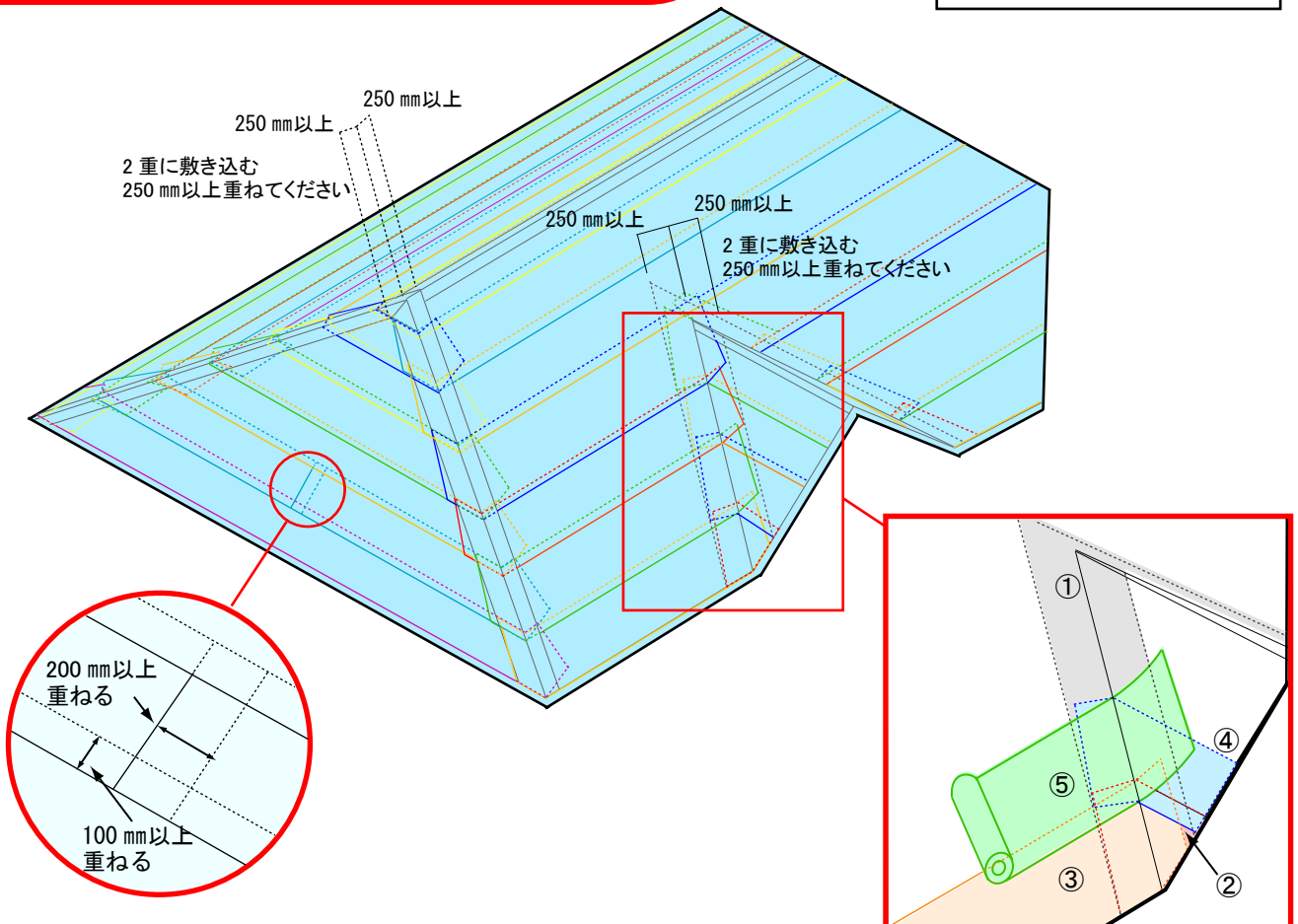
財団法人 住宅保証機構の性能保証住宅設計施工基準及び建築工事標準仕様書JASS12 屋根工事に準拠しています。

⚠ 注意

- ・ 荷揚げが難しい場合は、ルーフィングを予め5～6mに切ってから荷揚げをしてください。
- ・ カッター等で切断する際には、刃にブチル層が絡みます。切れ味が悪く感じた際には、都度新しい刃に取り換えてください。
- ・ 下地が含湿している時や雨天時の敷き込みは避けてください

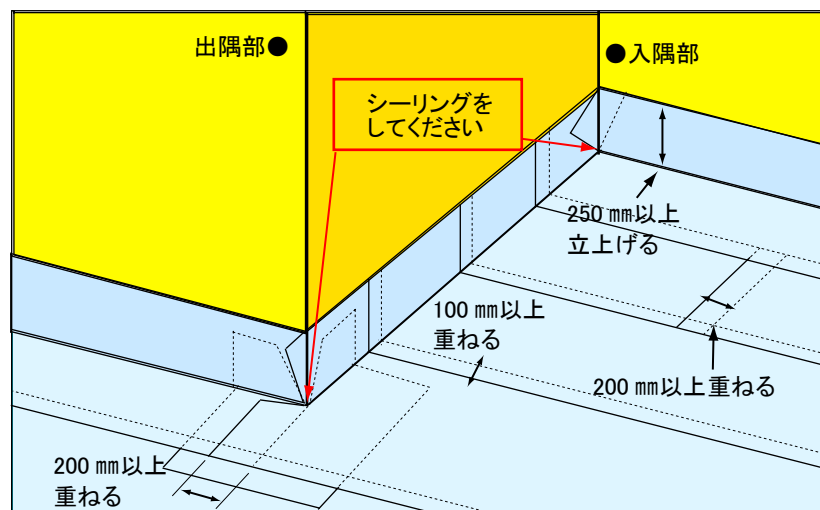
■ 重ね要領（寸法）

- ・ 流れ方向：100 mm以上
- ・ 桁行方向：200 mm以上
- ・ 棟部：2重に敷き込む
- ・ 下り棟部：多重に敷き込む
- ・ 谷部：多重に敷き込む



谷部は図の①～⑤の順に敷き込んでください。

■ 出隅部・入隅部・下屋部



※壁用水切りスノーを使用する場合は上端より50 mm以上立上げてください。